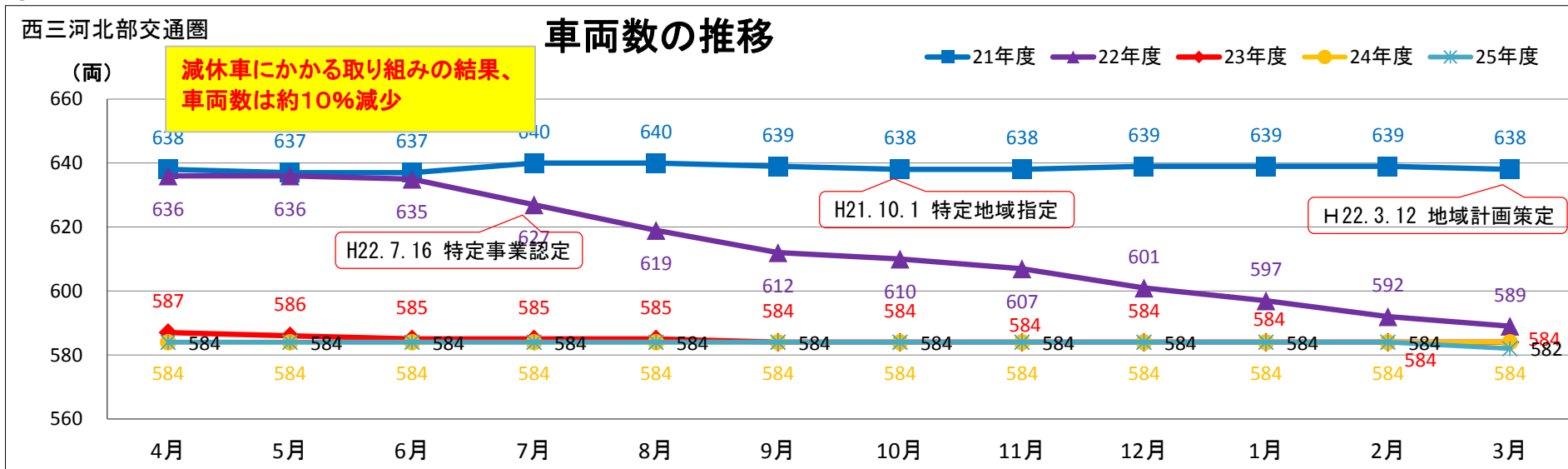
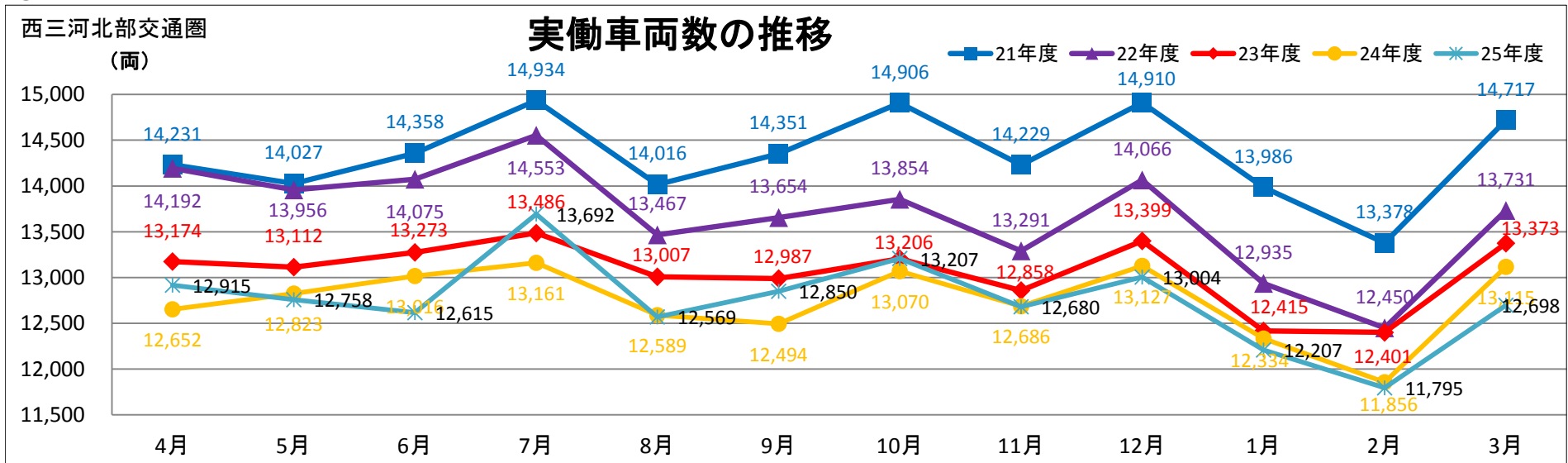


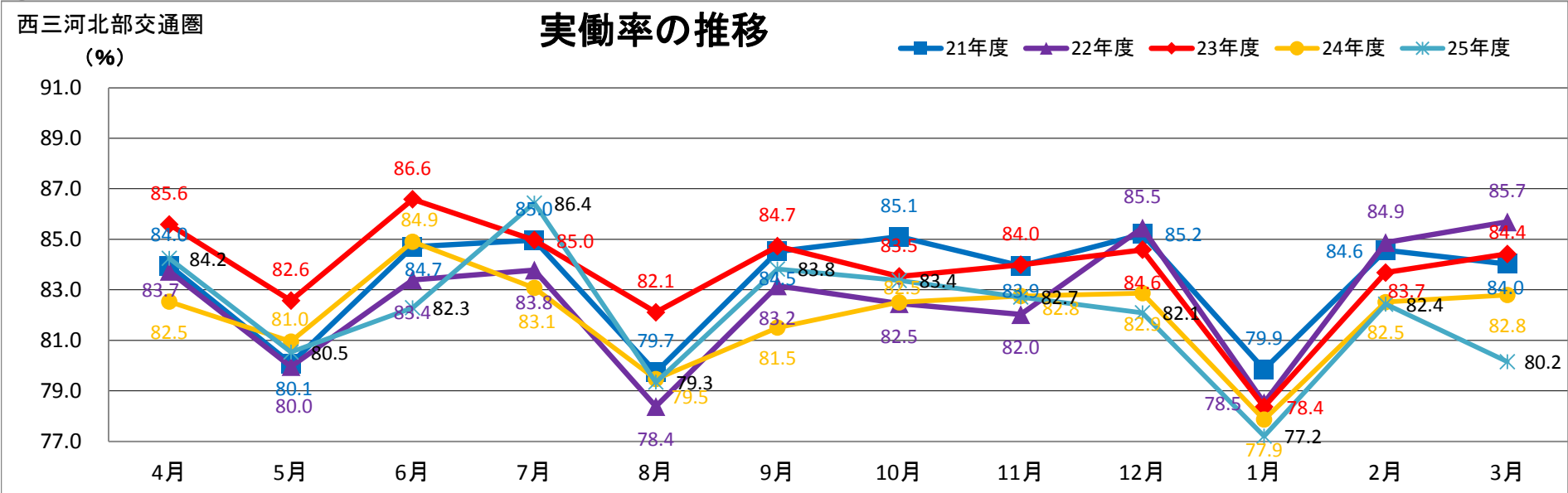
①車両数の推移



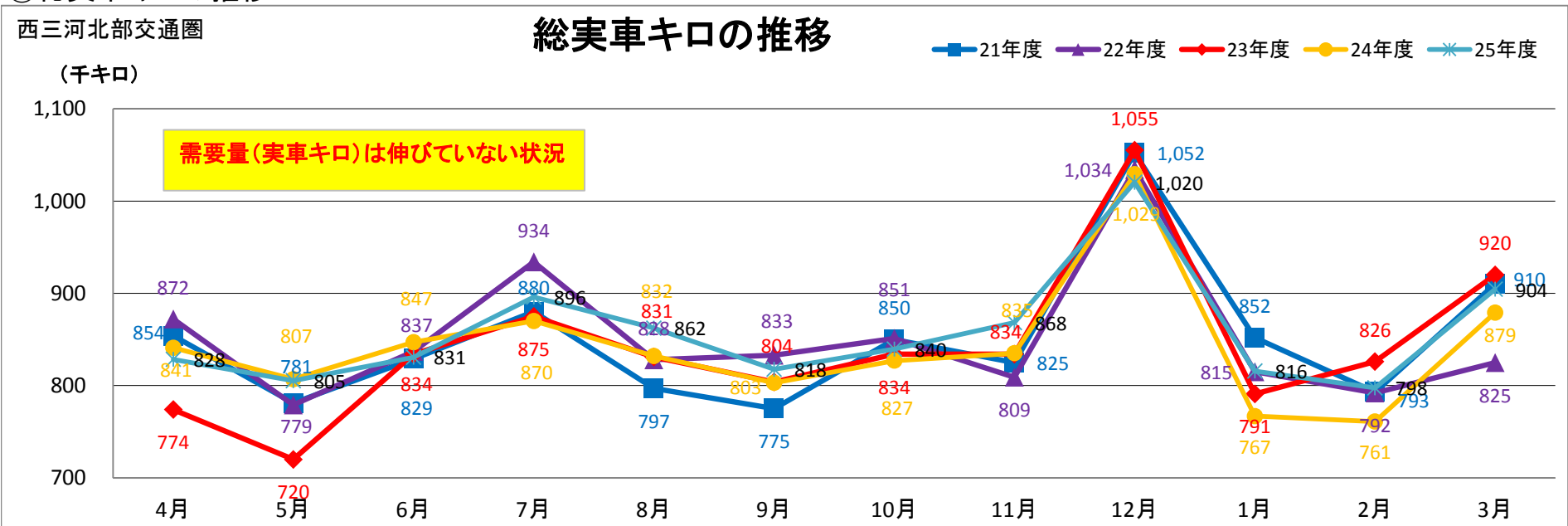
②延べ実働車両数の推移



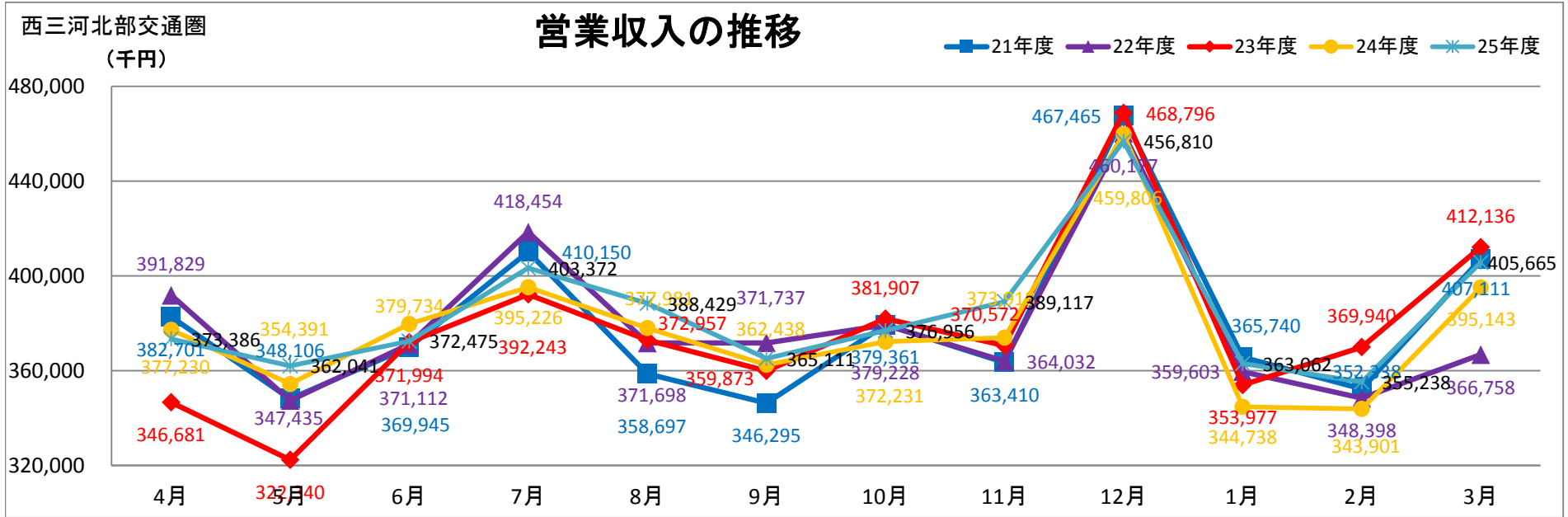
③実働率の推移



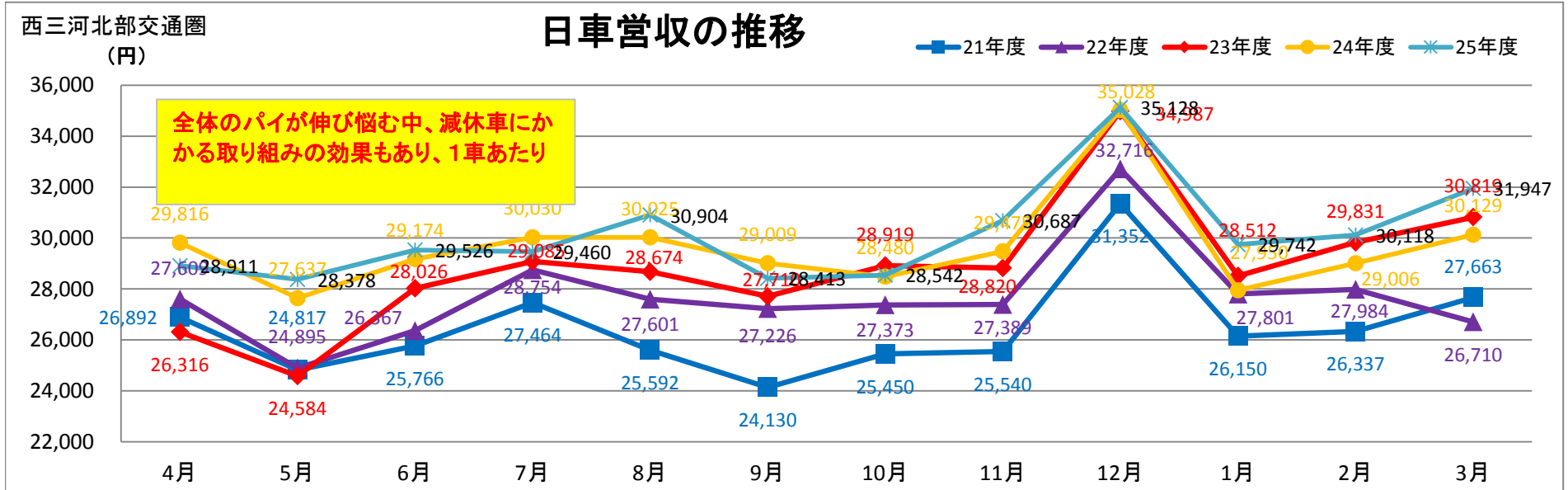
④総実車キロの推移



⑤営業収入の推移



⑥日車營收の推移



◆総需要量、総供給量、日車營收の増減率の推移の比較

供給量については、平成22年7月の特定事業計画の認定を受けて減・休車が進み、23年度以降は車両数の減少は少ないものの、運転者不足の影響もあり、延実働車両数は減少している。

総需要量（総実車キロ）については、厳しい状況が続く中、平成24年2月以降は震災による需要減の反動により一旦回復傾向が見られたものの、平成24年12月以降は増減を繰り返している状況。

そういった中、日車營收（1車両あたりの営業収入）をみると、総需要が伸び悩む中おおむね対前年比プラスで推移しているため、ここに各社が減休車に努めた効果が伺える。

西三河北部交通圏

総需要量、総供給量、日車營收の増減率の推移(対前年同月比)

